

私が大分三愛メディカルセンターの消化器内科に赴任したのが2013年10月、その頃から超音波内視鏡(EUS)の画像診断精度が飛躍的に向上し、小膵癌などの発見に寄与することが注目されていました。そこで、消化器病・内視鏡センターの一つの特色として早期膵癌の発見、治療を目標に体制を整え計画を立てたわけです。2015年に現在の消化器病・内視鏡センターが完成し、そこから膵癌スクリーニング検査を開始しました。

まずは、無症状の早期膵癌の発見を効率的にできるのではないかという仮説をもとに、膵癌診療ガイドラインにある膵癌リスクファクターに注目。リスク因子を低リスクと高リスクのものに分類し、スコア化。リスクファクター1個につき1点としました。低リスクのものは3点以上、高リスクのものは1点以上を満たせば、EUSを中心とした精査に入るといった内容で検査を行ってきました。「膵癌リスクを有する患者様を意識して検査、またはこちらで紹介いたします」と先生方をお願いしてきた結果、検査件数も伸び小膵癌の発見件数が増え、2015年3月～2016年11月の間のデータをまとめ評価できました。このスコアリングシステムを用いたTS-1(20mm以下)膵癌発見率の感度は100%、特異度64%、診断率3.4%でした。既報で認めていた早期膵癌の診断率を上回る結果であり、2018年に投稿、論文化しました。(右図)

その後、2019年7月からの5年間、多数例での検討を行うべく、多施設共同研究を開始しま

した。大分三愛メディカルセンター、JA尾道総合病院、大分大学医学部附属病院、岡波総合病院、川崎医科大学、九州大学、福岡大学筑紫病院、国府台病院、南和歌山医療センター、東京女子医科大学、近畿大学医学部附属病院、名古屋大学、都立駒込病院の計13施設に協力いただき、3347例の症例登録をいただき、3287例の適格症例の解析を行い、その結果、スコア陽性者2531例中283名の膵癌を指摘、うちstage0 27例 stage1 40例、stage2 91例、stage3 26例、stage4 99例の結果でした。(裏面に詳細)

本邦におけるstage0およびstage1(TS1a:10mm以下)膵癌は10年生存率stage0 95%、stage1 94%との報告¹⁾があります。

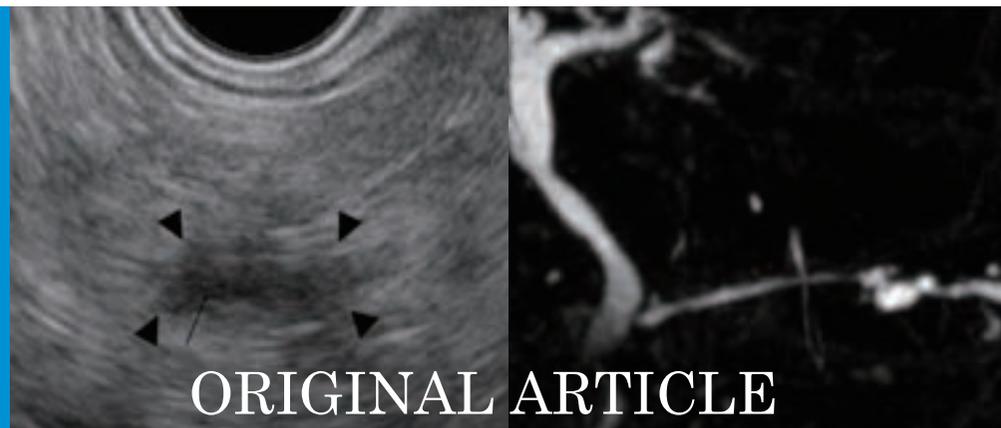
¹⁾Kanno A. Pancreatolgy 18; 61-67: 2018

今回の多施設共同研究で、stage0およびstage1膵癌の診断率は2.6%と良好な結果となりました。スコアリングシステムを用いた膵癌スクリーニングは、完治が期待できる早期膵癌や切除可能膵癌の発見率が高いという結果を得られています。

消化器病・内視鏡センター発足から10年が過ぎましたが、切除後10年再発を認めない患者様が増えてきた実感を持って診療を継続しています。

今後も膵癌診療に力を入れていく所存です。気になる症例がありましたら気軽にご相談下さい。

消化器病・内視鏡センター長 錦織英史

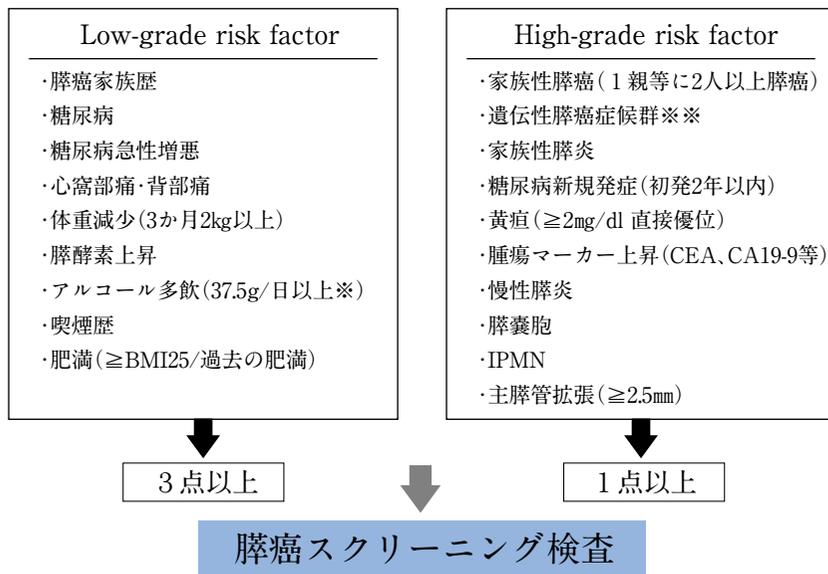


ORIGINAL ARTICLE

Utility of Endoscopic Ultrasonography Screening for Small Pancreatic Cancer and Proposal for a New Scoring System for Screening

Ryota Sagami, MD,* Hidefumi Nishikiori, MD,* Katsuhiko Anami, MD, PhD,† Shozo Fujiwara, MD, PhD,† Koichi Honda, MD, PhD,‡ Shoichiro Ikuyama, MD, PhD,S Masayuki Kitano, MD, PhD,|| and Kazunari Murakami, MD, PhD‡

¹⁾ Pancreas.2018 Feb;47(2):257-264

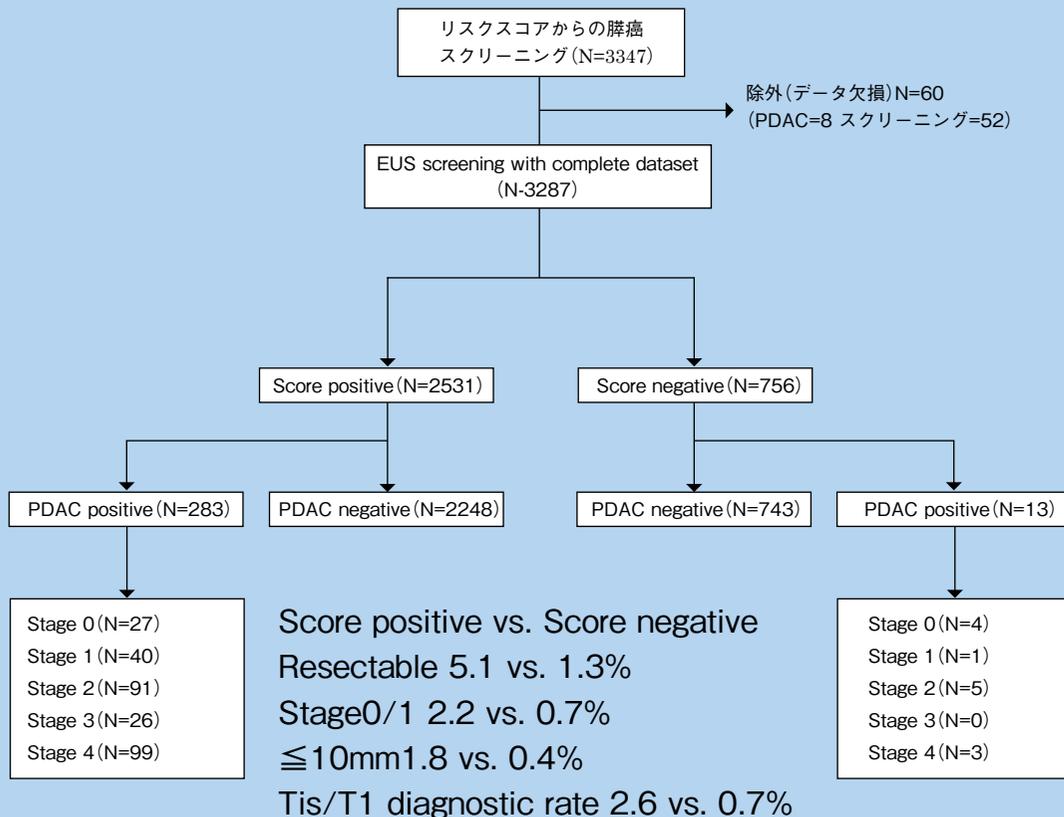


※アルコール37.5g 例:ビール500ml缶2本、日本酒1.5合、焼酎25度180ml、ウイスキーダブル1.5杯

※※遺伝性乳がん卵巣がん症候群(BRCA2遺伝子)、家族性メラノーマ多発性症候群

(Familial Atypical Multiple Mole Melanoma Syndrome (FAMMM))家族性遺伝性膵炎(Familial Pancreatitis) Peutz-Jegher's Syndrome、リンチ症候群など

スコアリングシステムによる 膵癌スクリーニング(前向き、多施設共同研究)結果



医療機関の皆さまへ

各検査で以下に該当する場合、一度ご相談ください。**早期の膵癌**の可能性あります。

- ✓ はっきり主膵管が見える
- ✓ 膵嚢胞がある
- ✓ 単純CTで一部分だけ膵実質が痩せている

消化器内科医師のご紹介

当院は指導施設および関連施設に認定されています。

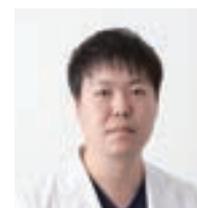
指導施設認定: 日本消化器内視鏡学会、日本胆道学会、日本膵臓学会
 関連施設認定: 日本消化器病学会
 日本外科学会外科専門医制度



消化器病
内視鏡センター長
大分大学医学部
臨床教授
錦織 英史
大分大学卒
(2004年)

[専門分野]
消化器内科(一般)
胆膵内科

[認定資格]
日本消化器内視鏡学会
専門医・指導医・九州支部評議員
日本膵臓学会 認定指導医
日本胆道学会 認定指導医
日本消化器病学会 専門医
日本内科学会 認定内科医
日本医師会 認定産業医



消化器内科医師
佐藤 孝生
大分大学卒
(2012年)

[専門分野]
消化器内科(一般)
食道静脈瘤

[認定資格]
日本内科学会 認定内科医
日本消化器病学会 専門医
日本内視鏡学会 専門医
日本内科学会・総合内科専門医
日本門脈圧亢進症学会
内視鏡技術認定医



消化器内科医師
辻 博晶
防衛医科大学卒
(2014年)

[専門分野]
消化器内科(一般)

胆膵内科
[認定資格]
日本内科学会 認定内科医
日本消化器病学会 専門医
日本消化器内視鏡学会 専門医



消化器内科医師
佐藤 実歩
兵庫医科大学卒
(2021年)

[専門分野]
消化器内科(一般)

[認定資格]
麻酔科標榜医

非常勤医師 小川 竜 淀 優花 森 圭依
佐上 亮太 木下 慶亮 半澤 誠人

ご紹介連絡先

ひとに笑顔を ちいきに「愛」を
大分三愛メディカルセンター
地域連携センター TEL.097-542-7404

〒870-1151 大分市大字市1213番地
TEL.097-541-1311
www.san-ai-group.org

